

# 山元町農業委員会だより



△ 農業委員会がモデル的に実施した遊休農地再生作業の様子（昨年11月 坂元地区）

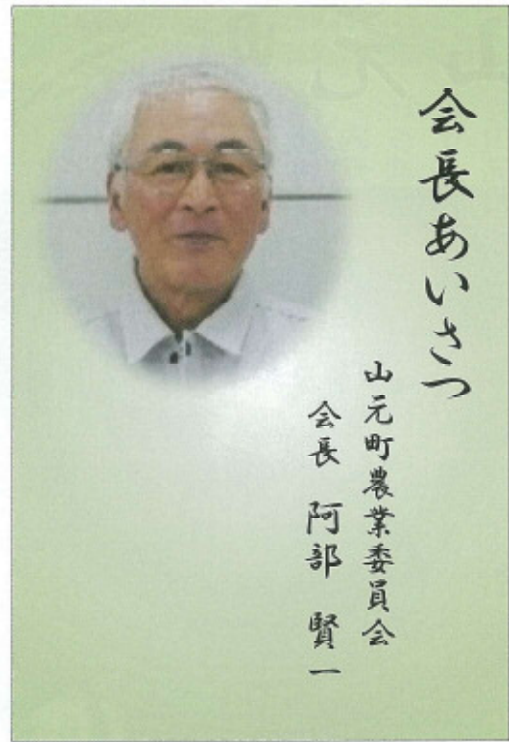
◇会長あいさつ	2
◇がんばる！山元町の農家さん	2
◇農業委員会はこんな活動をしています	3
◇山元町の営農と就労の状況について	4

発行 山元町農業委員会 編集 山元町農業委員会だより編集委員会  
〒989-2292 山元町浅生原字作田山 32  
電話：0223-37-5117 FAX：0223-37-4144

# 会長あいさつ

山元町農業委員会

会長 阿部 賢一



山元町農業委員会だよりの発刊にあたり、ひとことご挨拶を申し上げます。

昨年の秋の収穫を直撃した台風十九号とその後の大雨による農作物への被害は甚大で、稲藁の堆積等にも大変なご苦労をされていると思います。

また、その中であって、隣接の丸森町・角田市の被害は目を覆うほどの状況となりました。当委員会としても全委員の総意として見舞金を届けて参りました。一日も早い復旧を願うばかりです。

農業を取り巻く環境も厳しい状況が続くところですが、当委員会も農家の皆様の気持ちに寄り添って業務を行う所存ですので、今後ともご理解・ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

## がんばる！ 山元町の農家さん

株式会社 一莓一笑 いちごいちえ

さとうたくみ  
佐藤拓実さん（つばめの社）

佐藤さんは、震災をきっかけに二〇一二年三月、(株)一莓一笑を設立しました。

現在は山元町に八五アール、仙台市内に三〇アールのイチゴ栽培を行っています。

品種は、とちおとめ、もういっこの他、新品種のにこにこペリも生産し始めました。県内で唯一いちごでASIIAGAP（生産工程管理）の認証も受けています。

現在十六名の従業員と共に生産を行っており、従業員に福利厚生や休日制を導入できる農業を実践し、その結果が出せるようになってきたそうです。



(株)一莓一笑 代表 佐藤拓実さん

また、高齢化により担い手不足が懸念される中で産地力が低下しないためにもITを取り入れた栽培方法を取り入れたり、地域の農家との情報交換をする機会を設けることで従業員の育成にもなっています。

佐藤さんに今後の抱負をたずねると「持続可能な農業環境と効率を高めた生産を追求していきたい。」と明るい笑顔で語っていました。

## 農業委員会はこんな活動をしています

### 農業委員会とは？

農業委員会は、農地法に基づく農地の売買・貸借、農地転用案件への意見具申のほか、担い手への農地利用集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進など「農地の利用の最適化の推進」を担う行政機関として市町村に設置されています。

### 組織の概要

山元町農業委員会は、会長及び職務代理者各1名、農業委員6名、農地利用最適化推進委員11名の合計19名で構成されており、任期は3年間（平成30年1月29日から令和3年1月28日まで）となっています。

### 農業委員と農地利用最適化推進委員の活動

農業委員と農地利用最適化推進委員は、それぞれ次の役割を担っており、お互いに連携しながら活動しています。

#### 〔農業委員の役割〕

- 農地の権利移動、転用等の許可申請についての審査  
毎月1回定例総会に出席し、農地の売買・貸借や転用等の許可申請について、農地法に定められた許可基準に照らして厳正に審査・決定します。  
また、農業経営基盤強化促進法に基づき、農用地利用集積計画を審議・決定します。
- 農地パトロール（農地利用状況調査）などの現場活動  
農地利用最適化推進委員とともに農地パトロールなど現場活動を行います。

#### 〔農地利用最適化推進委員の役割〕

- 担当地区での現場活動  
農地法や農業経営基盤整備強化促進法に基づく許可申請について、現地調査を行います。また、農地パトロールなど担当地区での現場活動を行います。
- 会議への出席、意見陳述  
定例総会に出席して現場での調査結果等を報告し、意見を述べます。

先進事例の視察研修



毎月開催される定例総会



## 山元町の営農と就労の状況について



▶農水産物直売所「夢いちごの郷」

山元町の営農状況を金額ベースで見ると、平成二十七年度から毎年増加しています。

内訳としては、総額二四・六億円の内、苺を主体とした野菜が一五・二億円、米七・五億円、果実一・一億円となっています。

県内の市町村毎では野菜が七位となっています。農地面積、就農者数から見ると決して少ない金額ではありません。

山元町の特徴としては、花卉や畜産が極端に少ない点と、米と苺が主力であると言えます。

次に就農状況です。二〇一五年度の就業者数は六二七人（男三五四人、女二七三人）となっています（全町民の一・二％）。

内訳では六五歳未満が一九八人で全体の約三〇％、高齢者が主体となっているのは全国的な傾向で、山元町も例外ではありません。臨時雇いの割合が、他の市町村よりも多いのも特徴と言えます。新規就農者では、雇用就農が多い他、昨年度は新規参入就農者が三名と県内でも顕著な数字を残しました。

山元町は東日本大震災の後、離農等の影響で就農者数が激減しましたが、農地の復旧復興が進むと共に回復の方向に向かっていきます。

農業の最後の決め手はマンパワー。山元町の農産業がより良い未来になると信じて。

以上ご報告まで。

### 全国農業新聞 購読のすすめ

全国農業新聞は農業総合専門紙です。農業と農政の現状を中心に、農業者の経営とくらしに役立つ最新の情報をお届けしています。

毎週金曜日発行

料金 月七〇〇円（送料・税込み）

購読ご希望の方は農業委員会事務局までお申し込みください。

### 農業者年金に加入しませんか

農業者年金は農業者が加入できる公的年金です。

〈加入要件〉

- 国民年金の第1号被保険者
- 年間六十日以上農業に従事
- 二〇歳以上六〇歳未満の方

保険料は月額2万円から6万7千円、途中で金額変更も可能です。

脱退も自由で、脱退後も支払った保険料に応じた年金を将来受け取ることができます。また、保険料の国庫補助や税制上の優遇制度などのメリットもあります。

詳しくは農業委員会事務局または最寄りのJAにお尋ねください。